

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年3月25日

事業所名： 千葉県大宮学園
福祉型児童発達支援センターひまわりルーム

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		定員に合わせてスペースを確保している	
	2	職員の配置数は適切である	○		指定基準4：1に対し4：2人配置している	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		視覚支援等を用いて生活空間をわかりやすく構造化している。また、設備のバリアフリー化と安全面の適切な配慮に努めている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		定期清掃による生活空間の清潔維持と快適な活動のため換気・室温調整・加湿器設置など環境整備に努めている	
業務 改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		運営会議や打ち合わせ等、職員間で検討し改善の機会を設けている	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者向けアンケート調査等によるニーズや意見の把握に努めており、指定管理の定期モニタリングにて業務改善を図っている	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		年2回保護者向けアンケートや常設の意見箱による意見要望等について自己評価をし、改善内容は館内掲示やホームページ等で公開している	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		年間計画を作成し、必要な研修への参加機会を設けている	
適切 な 支 援 の 提 供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		アセスメントの評価と保護者ニーズ等に基づき目標と課題を設定し、個別支援計画書を作成している	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		概ね年1回、発達検査など個別の評価を実施している	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		児童発達支援ガイドラインに基づいて必要な項目を選択し、「生活」「遊び」「情緒・コミュニケーション」の具体的な支援内容を設定し支援に努めている	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
適切な支援の提供	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		契約児一人ひとりにわかりやすいプログラム内容を考え、対応している。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		集団活動を通して社会性や自主性を育み、個々の特性や課題に添った個別活動に取り組んでいる	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日支援開始前の打ち合わせを実施し、活動内容や支援方法、役割分担などの確認を行っている	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後に活動や支援内容、お子さんの様子などの情報共有を行い、記録を作成している	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援内容を業務日誌や個々のカルテに記録し、検証・改善につなげている	
	20 定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		職員間で支援の振り返りを行い、支援内容や方法の見直しを行っている	
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		主に担任や児童発達管理責任者が参画し、連携を図っている	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		各関係機関からの相談に応じ情報共有を行う等連携した支援に努めている	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		各関係機関と連携し、必要な情報共有と支援に努めている	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		主治医からの診療情報提供に基づいて情報共有を行い、主治医や協力医療機関等との連絡体制を整えている	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		切れ目なく必要な支援が受けられるよう、支援内容の情報提供と相互理解に努めている	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		個別支援計画や、引継ぎ会議等を通して情報提供と相互理解に努めている	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		千葉県通園施設連絡協議会加盟施設や他児童発達支援事業所、市内の児童発達支援センターと連携の会議を行っている	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		近隣の保育所や幼稚園と定期的に交流の機会を設けているが、本年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため実施できませんでした	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		
保護者への説明責任等	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		面談や親子通園などの来園時や、おたより帳や電話等を通じて共通理解に努めている	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		専門職による保護者向け勉強会や個別相談会を実施している。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約や更新時、運営方針説明会で実施している	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		保護者ニーズと個々の課題・目標に沿って個別支援計画を作成し、面談で保護者に説明を行い、同意を得ている	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		定期的な面談やクラス懇談会、連絡帳などを通して相談に応じ必要な助言と支援に努めている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者会の開催場所提供、おしゃべり会の開催、「父の会」顧問などを行っている	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談や申し入れについて協議が必要な場合は、打ち合わせ等で随時職員間で協議を行い、適切に対応に努めている	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月のお便りで活動概要や行事予定を伝えている他、随時クラスだより保健だよりを発行している	
38	個人情報の取扱いに十分注意している	○				
39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		運動会などの行事に地域住民、近隣保育所・OBなど招待しているが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため外部への招待を自粛しました。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		各マニュアルを策定し、周知するとともに、定期的な訓練を実施している	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		月一回、火災・地震・風水害等を想定した防災訓練を実施している。また、親子通園日に引き渡しの練習を行った。職員による広域避難場所への避難経路等の確認も行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		契約時に、服薬状況てんかん発作等について確認している	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		主治医の生活管理指導票に基づき対応している	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		毎日会議を開きヒヤリハット事例の有無を確認し対応方法を考え、記載している	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		年二回、職員間で伝達講習を実施している	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		身体拘束は行っていない また、バス乗車時の安全ベルトについて、保護者の承諾を得て着用している	

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。